

テーマは「旅は変える。人生を。世界を。」 海外旅行復活と震災被災地支援の企画展開へ

ツーリズム EXPO ジャパン実行委員会は5月25日、東京・霞が関の東海大学校友会館で「ツーリズム EXPO ジャパン2016」の概要発表会見を開催しました。

海外旅行・訪日旅行と国内旅行の振興を図るため、「観光」をキーワードに多くの国や地域の魅力が堂に集結する世界最大級の旅の総合イベントとして3回目を迎える「ツーリズム EXPO ジャパン」の今年の開催テーマは、「旅は変える。人生を。世界を。」です。

展示会の海外出展では「海外旅行復活の年」として需要喚起の展開を行うほか、国内展示では震災被災地支援などの企画も計画されています。

さらに、今年から名称を改め



ツーリズム EXPO ジャパン実行委員会の田川委員長(左)と並見陽副委員長

た「ツーリズム EXPO ジャパン フォーラム」では、輝き続ける日本、そして世界——インバウンド4000万人時代の交流大国を目指してテーマにグローバル観光フォーラムを開催し、世界へ向けてアジアにおけるツーリズムの大きな可能性を発信することになります。

ツーリズム EXPO ジャパン実行委員会の田川博己実行委員長

は、3回目で「ジャンプの年」となる「ツーリズム EXPO ジャパン2016」のポイントとして、(1)第1期三位一体型イベントの完成形、(2)アジアにおけるフラッグシップイベントとしての明確なポジショニング確立、(3)ツーリズムレガシーの新たな芽吹き、の3点を指摘しました。

また、「旅は変える。人生を。世界を。」というキャッチフレーズについて、田川委員長は「2020年に向かって日本が世界を動かすエンジンになる」「ツーリズム産業がヒトを動かし、

地域を動かし、未来を変える、そのすべての原動力になる」「3年目の集大成と更なる飛躍に向かう」という意味を込めたと説明。二代目歌川広重の作になる「諸国名所百景」の「遠州秋葉遠景袋井風」をベースとするキービジュアルは、「人々の交流と様々な文化が融合する旅のスタイル」を表しています。

ヨーロッパ全体を盛り上げる企画も検討

展示会では、国内47都道府県に加えて、140以上の国・地域から前年比4%増となる1550小間の申し込みがあり、国内部分は、今年3月の北海道新幹線の開業によつて結ばれた青森と函館の「青函連携」効果の盛り上がり、100小間以上の関東甲信越地域、90小間以上の中四国地域での広域連携による「地域を見せる」工夫が期待されています。

アウトバウンド復活を掲げる海外展示では、日本からの旅行需要回復を目指すフランスが出展を決定しており、田川委員長は「リ

カバリーフランスに向けて主催者としても出来る限り協力する」方針を示し、「ヨーロッパ全体を盛り上げる企画を検討している」とも明らかにしました。また、展示規模では、50小間を出展する韓国が最大で、ブランドUSAの48小間が続いています。

日本橋エリアを舞台にジャパンナイト

ジャパンナイトは、昨年に続いてユニーク・エキスポ・リエンスのコンセプトを継続し、東京の市街地空間を活用する「都市型MICE」第2弾として日本橋エリアを舞台に様々な企画を検討しており、田川委員長は「江戸の中心として栄え、国内をつなぐ五街道の起点となる道路元標がある日本橋を拠点に、日本の伝統や文化、日本食を堪能していただきたい」と説明しました。

ツーリズム EXPO ジャパンは、リオ五輪後に日本で開催される最初の国際イベントとなることから、田川委員長は「東京を国際都市としてアピールし、海外からのお客様の国際交流とツーリズム EXPO ジャパンへの来場の促進を目指したい」と意欲を示しています。

旅行業の未来を広げる旅の企画大賞 「ツァーグランプリ2016」 応募受付中!



旅行業における企画力およびマーケティング力の向上、「観光立国」の施策に寄与することを目的に、海外、国内、訪日旅行で最も優れた企画旅行(募集型・受注型)に対して表彰を行ってきた「ツァーグランプリ」を今年も開催します。是非、皆様からの魅力あふれる企画旅行のご応募をお待ちしております!

応募方法など詳細はこちら↓



応募締め切りは7月8日(金)必着。

主催：ツァーグランプリ2016 実行委員会
 後援：国土交通省(予定)、国土交通省観光庁(予定)、
 一般社団法人日本旅行業協会(UATA)、一般社団法人日本旅行作家協会

お問合せ

ツァーグランプリ2016 運営事務局
 〒100-0013 東京都千代田区麹町3-3-3 全日通商が関ビル3F
 TEL:03-6858-3615 FAX:03-3592-1268 Email:tatg@jata-net.or.jp